

# さわやかCPAP便



医療法人

大竹内科呼吸器科医院

H28年3月発行

第57号

まだ寒い日が続きますが、みなさん体調はいかがでしょう？ 今年はずの降り始めが遅かった影響か、インフルエンザ等の疾患が流行するのも遅くなるという傾向があるようです。もう少しで温かい季節になりますが、油断せずに体調管理をしっかりとしましょう。さて、今回のCPAP便では1月に岩手県で行われた北東北睡眠医療研究会で勉強してきたことを簡単に紹介したいと思います。

## 簡易検査と精密検査の違い

当院でも自宅で無呼吸症候群かどうか検査できる簡易検査を行っていますが、やはり簡易検査だけでは正確さに欠けるということでした。簡易検査にて**無呼吸・低呼吸の指数(AHI)が正常の5回/時間未満でも、精密検査(PSG)を行うとAHIは50回/時間もあったそうです。**やはり簡易検査において正常と判断された人でも、眠気が強ければPSGを行った方がいいのかもしれません。



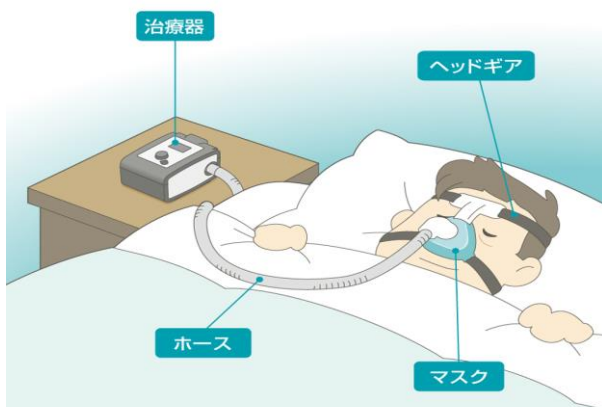
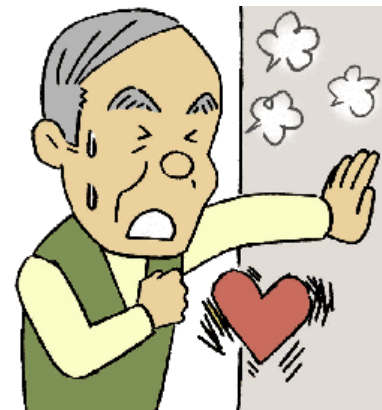
## 睡眠時無呼吸症候群(SAS)と心不全の関係

SASは心不全を発症する危険性を**約2.4倍**高めます。またSAS患者が心不全を発症してしまうと、浮腫が喉に起こり、気管が狭くなることで睡眠中の呼吸をさらに不安定化する恐れがあります。さらに呼吸を調整する呼吸中枢にも変化が起こると言われています。つまりSASが心不全を呼び、心不全がSASを悪化させていくという悪循環に陥るわけです。

## CPAPは心不全にも有効!!

以前から急性心不全に対して人工呼吸器を用いたCPAP療法が有効であると知られていました。またSASを合併した慢性心不全の患者さんにCPAP治療を行うと、心臓のポンプ機能が良くなることもわかっています。このポンプ機能の改善はCPAP治療1か月後からみられるそうです。

心不全は大変予後の悪い病態ですので、予防がとても大事です。特に重症のSASと診断された方は心不全にならないように、できるだけ毎日CPAPを4時間以上使用するよう心がけましょう!



～お知らせ～

**4月7日(木)～11日(月)**は  
院長学会出席のため**休診**とさせていただきます。

代診として

**4月2日、16日、23日、30日**

(土曜日)の**午後**も診察いたします。

診察時間は通常通り 午前 9:00～12:00

午後 14:00～18:00